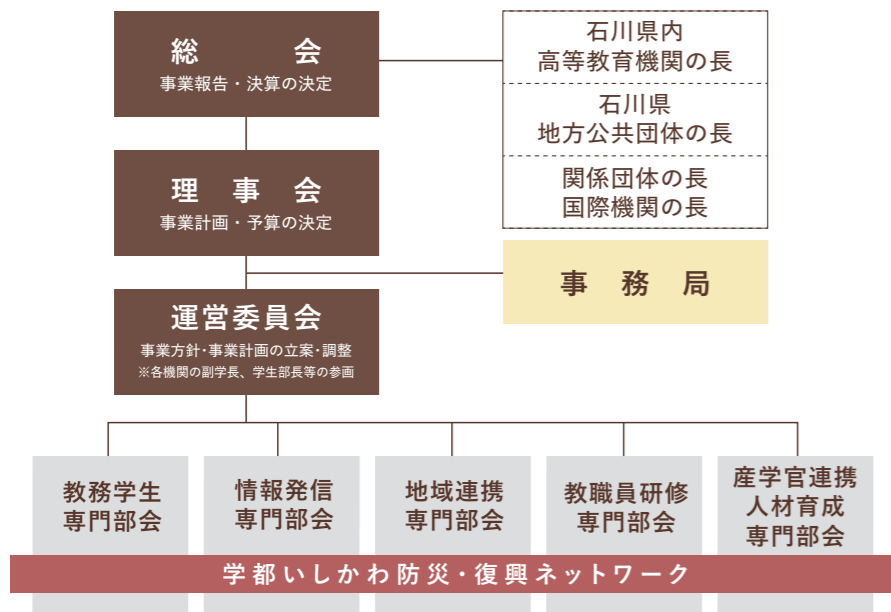


組織



加盟機関

高等教育機関

大学

国公立

金沢大学
北陸先端科学技術大学院大学
石川県立看護大学
石川県立大学
金沢美術工芸大学
公立小松大学

私立

金沢工業大学 金沢星稜大学
金沢医科大学 北陸大学
金沢学院大学 金城大学
北陸学院大学
かなざわ食マネジメント専門職大学

短期大学

私立

金沢学院短期大学
金城大学短期大学部
金沢星稜大学女子短期大学部

高等専門学校

国立

石川工業高等専門学校

私立

国際高等専門学校

放送大学

放送大学石川学習センター

地方公共団体

石川県、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

関係団体

石川県商工会議所連合会
(一社)石川県経営者協会
(一社)金沢経済同友会
(一社)石川県繊維協会
石川県酒造組合連合会
(公社)金沢青年会議所

石川県商工会連合会
石川県中小企業団体中央会
(一社)石川県鉄工機電協会
(一社)石川県食品協会
(一社)石川県情報システム工業会

国際機関

国際連合大学サステナビリティ高等研究所
いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット



石川県政記念 しいのき迎賓館

「公益社団法人 大学コンソーシアム石川」の事務局は兼六園に隣接する「石川県政記念 しいのき迎賓館」内にあります。建物正面から入ると表紙写真の重厚な階段があり、歴史的な意匠を活かしながら、新たな文化を育むこの建物の象徴となっています。



ISHIKAWA 高等教育機関 MAP

公益社団法人 大学コンソーシアム 石川

2026

大学等連携による
石川の「知」の拠点の創出



The University Consortium Ishikawa



公益社団法人 大学コンソーシアム石川

〒920-0962 石川県金沢市広坂二丁目1番1号 石川県政記念 しいのき迎賓館3階
TEL:076-223-1633 FAX:076-223-1644 E-mail:info@ucon-i.jp



次代を担う人材育成を目指して



大学コンソーシアム石川 会長

和田 隆志

大学コンソーシアム石川は、平成18(2006)年に設立され、今年で20周年を迎えました。この間、少子高齢化や国際化が進み、新型コロナウイルスの流行なども契機となって、学びの在り方は大きく変容しました。さらに令和6年には、能登半島地震・奥能登豪雨の大災害がありました。能登復興や地域再生をはじめとする諸課題の解決に対し、未来社会を担う若者を育む高等教育機関への期待とその責任は益々大きくなっています。

この期待に応えるため、大学コンソーシアム石川は、石川県内すべての高等教育機関が国・公・私立の枠組みや大学・短大・高専という学校種別を超えて協働し、魅力あふれる学びと切磋琢磨する環境を提供しています。具体例としては、全国大学コンソーシアム協議会の広域単位互換制度を活用し、学びの多様化を図っています。また、学生を海外に派遣する「Take-Off Program」と卒業生の地元定着に寄与する「学都いしかわエクスターンシッププログラム」等により石川県の発展を教育面から支えています。

能登復興へ向けては、のと里山空港内に「能登分室」を設置し、各高等教育機関、地方公共団体、企業・NPO法人等の連携による「学都いしかわ防災復興ネットワーク」を構築するなど、支援・協力体制を整えています。

大学コンソーシアム石川は、幅広い知識と視野を持つ優れた人材を育成するとともに、高等教育機関と地方公共団体・産業界等との連携を深め、これからも地域のさらなる活性化に貢献していきます。

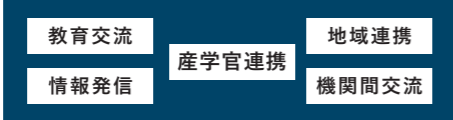
設立の趣旨

大学コンソーシアム石川は、石川県内の高等教育機関相互の連携及び高等教育機関と地域社会との連携を深める役割を担い、これらの連携による教育交流、情報発信、地域連携等を通して高等教育の充実・発展を図るとともにその成果を地域社会に還元し、広く学術・文化・産業の発展に寄与することを目的に設立されました。

高等教育機関連携による石川の『知』の拠点の創出

石川県内の20高等教育機関
大学・短期大学・高等専門学校

高等教育機関の機能強化
多様な教育プログラムの実現



学術文化都市の形成

大学・企業等・地方公共団体

沿革

平成11年 (1999年)	7月	いしかわ大学連携促進協議会(会長:谷本県知事)設立、石川県高等教育振興室に事務局を設置	平成25年 (2013年)	2月	「地域づくり総務大臣表彰」受賞。大学コンソーシアム石川の大学・地域連携に対する取組みが高く評価される。
平成15年 (2003年)	7月	県内高等教育機関で単位互換包括協定が締結される。	平成27年 (2015年)	7月	平成27年度官民協働海外留学支援制度〜トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム〜地域人材コースに採択される。
	10月	学生の単位互換や社会人も講義を聴講できる「いしかわシティカレッジ」等を開始する。	平成28年 (2016年)	4月	公益社団法人大学コンソーシアム石川に移行
平成18年 (2006年)	4月	大学コンソーシアム石川が設立、県広坂庁舎内に事務局が設けられ、業務を開始する。	8月	10周年記念事業開催	
平成20年 (2008年)	8月	文部科学省の平成20年度「戦略的大学の連携支援事業」に採択される(代表校:金沢大学)。	令和3年 (2021年)	10月	「金沢文化・学術研究開発都市未来構想」発表
平成22年 (2010年)	4月	事務局・セミナールームが「しいのき迎賓館」に移転する。	令和6年 (2024年)	6月	「学都いしかわ防災・復興ネットワーク」の設置
	7月	一般社団法人大学コンソーシアム石川に移行	8月	のと里山空港に能登分室の開設	
平成24年 (2012年)	10月	平成24年度文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」に採択され、取組みを開始する(代表校:金沢大学)。	令和8年 (2026年)	6月	20周年記念事業開催

主な事業

地域を超えた新たな学びの世界へ!

「広域単位互換事業」

令和7年度から、様々な地域の大学コンソーシアムが連携し実施する「広域単位互換ネットワーク」に参加し、石川の魅力ある講義を全国に発信するとともに、連携機関の多様な科目も受講可能になりました。

参加機関:キャンパス・コンソーシアム函館、教育ネットワーク中国、大学コンソーシアム石川、大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアム京都、ふじのくに地域・大学コンソーシアム

大学コンソーシアム石川提供科目(令和8年度春募集)

- ・石川食文化の魅力と健康:食の宝庫いしかわ「魚を食べて元気澆刺」
- ・地域と文学
- ・石川県の市町
- ・能登復興学実践論 一人と繋がり、未来を共創するー



「地域と文学」対面授業の様子



教育交流事業

いしかわシティカレッジ単位互換事業

他高等教育機関の科目を履修し修得した単位を、自分の所属機関等の単位とみなす制度
生涯学習の1つの方策として社会人にも提供
オンライン講義を活用し、一部の講義を全国展開中!

(令和7年度受講者数 4,128名)

	前期	後期	合計
科目	75科目	72科目	147科目
学生	2,243名	1,801名	4,128名
社会人	31名	51名	84名



シティカレッジ 講義の様子

兼六園周辺文化施設の

「学生のまちパスポート」発行事業

重層的な石川の文化の周知と学生の回遊による中心市街地の活性化を目的に、新入生が兼六園周辺の石川県・金沢市等の文化施設に1年間無料で何度でも入館できる「学パス」を発行(令和7年度利用者数 4,315名)



令和8年度 学パス

障がい学生等支援共同サポートセンター事業

加盟高等教育機関の障がい学生支援をサポートする啓発セミナーや障がい学生と卒業生の交流会等を実施

学都いしかわエクスターンシッププログラム(教育的効果の高いインターンシップ)

石川県内の企業や地方公共団体と高等教育機関が協働し、地元求められる優れた人材の育成と地元定着に寄与

グローバル人材育成支援事業

学生と地方公共団体・地域団体、産業界の連携を深め、石川県の明日を担う人材を育成

石川のグローバル化を総合的に支援する事業

- 「学都いしかわグローバル人材育成支援制度」
日本人留学生・外国人留学生と企業を繋ぎ、石川のグローバル化を総合的に支援
- ①Take-Off Program(日本人学生の留学支援)
 - ②Landing Program(外国人留学生の地元定着等)
 - ③Global exchange Program(日本人留学生・外国人留学生と企業を繋ぐ)



①令和8年度 Take-Off Program 社行会



②外国人留学生企業見学バスツアーin小松(瀬戸又)



③いしかわグローバルカフェ

地域連携事業

地域課題研究ゼミナール支援事業

地域の課題解決のために高等教育機関のゼミナール等と地域団体等が連携して取り組む活動を支援(令和8年度採択件数)

- 通常枠 6件
- 復興課題枠 18件
- 新技術活用枠(令和8年度新設) 1件



全国大学コンソーシアム協議会研究交流フォーラムでの活動

大学・地域連携アクティブフォーラム

地域課題研究ゼミナール支援事業に採択された高等教育機関のゼミナール等の学生による成果報告会を、地域・大学関係者が参加するフォーラム形式で開催



大学・地域連携アクティブフォーラム(成果報告会)

石川未来プロジェクト

いしかわの未来を見据え「未来の石川を学生がつくる」をテーマとするプロジェクト型事業
学生自身が、輝く未来を実現するための方策を考え、実践し、活動の成果を各分野のオーソリティに向け「石川未来会議」で提言



石川未来会議

令和6年能登半島地震被災者・支援者証言収集事業

石川県から委託を受け、能登半島地震の被災者等から証言を収集し、被災の経験を後世に伝え、今後の防災対策や防災教育の一助とする活動を支援
まとめた証言は、石川県のアーカイブページに掲載



機関交流事業

教職員研修(FD・SD)事業

加盟高等教育機関の教員と職員が一体となって、教育の質保証とスキルアップを目指す(令和7年度実績) 実施5回 参加者 教員19名 職員46名

情報発信事業

広報事業

石川県の進学ガイド『イシカレ』を制作し、県内外の高等学校等に配付
県内の高等教育機関や石川での学びの環境や魅力を紹介



2026 イシカレ

出張オープンキャンパス事業

県内の高等教育機関が連携して、北陸3県の高等学校及び石川県内の中学校へ教員を派遣し大学の模擬講義を実施(令和7年度実績) 実施校 延べ15校
模擬講義実施回数 延べ91回



出張オープンキャンパス模擬講義の様子

「学都石川」高校教員キャンパスツアー 「学都石川」高校生・保護者向けキャンパスツアー

県内外(対象地域)の高校教員や、北陸3県の高校生・保護者等を対象に、石川県の学びの環境等を紹介するキャンパスツアーを実施



「学都石川」高校教員キャンパスツアー

「学都石川」まちなか芸術祭の開催

学生の絵画・彫刻・工芸作品等の展示に加え、高等教育機関の学びや日頃の活動の成果、加盟高等教育機関の取組を地域へ広く発信
芸術祭開催の運営に学生が参加することで、芸術祭が学生間の交流の場となることを目指す



「学都石川」まちなか芸術祭